

解答・解説

凡例および注意点

① = 大問番号 ❶ = 段落番号 ❶ = 文番号

解答部

_____ = 正解部分
() = 省略可能
[] = 直前の語句との入れ換え可能

解説部

㊦ = 主語 ㊧ = 動詞 ㊨ = 目的語 ㊩ = 副詞 など
「 」 = 訳（基本は直訳）、あるいは強調
() = 省略可能、あるいは補足・別表現
【語句】 = 該当箇所の重要語句
[|] = 発音。左側が発音記号。右側が目安となるカタカナ表記で、ゴシック体はアクセント
⇒ = 派生語・反意語 など
☞ = 例文。暗唱できるようになることを強くお勧めする
【文法】 = 該当箇所の重要文法事項

日本語訳部

文構造にできるだけ忠実に、自然な日本語を心がけた

重要語句確認部

㊦ = 名詞 ㊧ = 動詞 ㊨ = 形容詞 ㊩ = 副詞 など
□ = チェック欄
[] = 発音記号
「 」 = 意味

解答

1

- 問1 これらの著者がみな、自身が並外れた人物で、その波乱の人生物語が伝記やテレビのドキュメンタリーの主題にされてきたことは、おそらくあまり知られていない。
- 問2 (A)
- 問3 (1) → 7 → 3 → 5 → 4
- 問4 ・異なる人種への偏見がなくなった。
・タバコを吸わなくなった。
・精神的に傷つくようになった。(以上3点、順不同)
- 問5 (B)
- 問6 (D)、(G)

解説

凡例： ❶ = 段落番号、❷ = 文番号

問1 日本語訳の問題。「和訳」の解答は、まず自然な日本語であることが大切。ただ、意識しすぎるのも減点対象となりうる。英文が含む要素が過不足なく和訳に反映されているか、吟味・推敲しよう。字があまりきれいでなくても、採点者の身になって、丁寧に書くことを心がける。

下線部(1)の文構造は、**主** **[接]** That 「～ということは」 **主** these authors **動** were **副** all themselves **補・名** {extraordinary figures 「これらの著者はみな、彼ら自身が並外れた人物だった」 **関代** whose colorful life-stories **動** have been made **目** the subject of biographies and television documentaries} 「その色彩豊かな人生の物語が伝記やテレビのドキュメンタリーの主題に作られてきた」 **動** [is **副** perhaps not] **補・形** well-known. 「おそらくあまり知られていない」となる。主語が that 節でかなり重く、ふつうは形式主語の it を使うような文 (It is perhaps not well-known that ...)。述語動詞以降の部分は単純なので、ポイントは主語の訳し方。まず、文法的には、関係代名詞の所有格 whose はコンマを伴わない限定 (制限) 用法だが、whose 以降の節が先行詞 extraordinary figures (あるいはそれと同一の these authors) にかかるようにすれば、継続 (非制限) 用法の説明的・叙述的な訳し方で構わない (上記解答では継続用法、日本語訳では限定用法で訳している)。have been made は現在完了形の受動態。能動的に訳しても構わないが、現在完了形は現在に関係ある表現なので、単純過去の訳し方にはならないように注意する。themselves は再帰代名詞の強調用法だが、直感的にわかるだろう。語句的には、figure 「人物」の訳が大切。他にも「姿、数字、図表」などの意味を覚えておこう。colorful は「色彩豊かな」でも通じるだろうが、「人生」を修飾するには「波乱 (万丈) の」などの方が自然だろう。subject 「主題」は、「テーマ」など

と訳してもよい。

問2 本文の一部内容にもっとも意味の近い選択肢を選ぶ問題。本文の内容を過不足なく言い換えたものが正解となる。選択肢に含まれる要素が言い換えとして正しいか、妥当に推測できるかを吟味する。

下線部(2)を含む文、**2 2** In the movies, Commander James Bond is a spy, (中略), whose death-defying acts to defeat evil villains and ‘save the day’ are always assisted by cutting-edge technology, ... (以下略) 「映画の中でジェームズ・ボンドはスパイで、悪人を倒して『窮地を救う』彼の死を恐れない行動は、いつも最新の科学技術に支えられ…」から、下線部は「悪人を破るための、死を恐れない行動」という意味になる。ここは名詞句だが、選択肢は文で説明される。

(A) Bond is not afraid of death in order to strike down his enemies. 「ボンドは、敵を打ち倒すために、死を恐れない。」○ 一致。【語句】in order to do 「～するために」、strike down 「打ち倒す」、enemy [ˈɛnəmi | エネミ] **名** 「敵」

(B) Bond denies villains’ abilities to engage in deadly actions. 「ボンドは、命がけの行動に携わる悪人の能力を否定する。」× 不一致。この選択肢では、「命がけ」なのは「悪人」の方になる。【語句】deny [dɪnaɪ | デナイ] **動** 「否定する」、engage in ～ 「～に携わる」、deadly [ˈdedli | デドリ] **形** 「命がけの」

(C) Bond never dies in the course of his pursuit and destruction of an evil. 「ボンドは、悪の追跡と破壊の過程で決して死なない。」× 不一致。never dies 「決して死なない」は事実を述べる表現で、death-defying は「死を恐れない」という形容する表現。defy [dɪfaɪ | ディファ

イ] **動** 「反抗する」は少々難しい語だが、この機会に覚えておこう。【語句】in the course of ～ 「～の過程で」、pursuit [pərsu:t | パースト] **名** 「追跡」、destruction [dɪstrʌkʃən | デストゥラクション] **名** 「破壊」

(D) Bond is dying to save the United Kingdom when his superiors actually have turned to the evil side. 「ボンドは、上司が実は悪人側に寝返ったときに、なんとしても英国を守りたいと思う。」× 不一致。【語句】be dying to do 「どうしても (死んでも) ～したい」

問3 本文内容との一致・不一致を選び、さらに時系列順に並べ替える問題。まず、内容が一致すれば○、一致しなければ×をそれぞれの選択肢の終わりにチェックしていき、一致するものには例えば「Navy officer」などのようにメモを書く。最後に、○をつけた選択肢冒頭の記号に、メモを見ながら番号を振っていく。問題を読んだ時点で、どのようなプロセスで解答するかを一考すること。解きながら考える、あるいは後で考えるより、時間の節約になる。

1. Ian Fleming was born into a wealthy family in the United Kingdom. 「イアン・フレミングは、英国の裕福な家族に産まれた。」○ 問題文通り。

2. Ian Fleming served as a member of Parliament. 「イアン・フレミングは国会議員として働いた。」× **3**

2 He was born in 1908 into a wealthy family in the United Kingdom, where Fleming’s father was a member of Parliament. 「彼 (イアン) は1908年、英国の裕福な家庭に生まれ、その家庭において、フレミングの父親は国会議員だった。」から、国会議員だったのは父親。イアンが国会議員だったとの記述はない。

3. Ian Fleming was an officer in the Navy, planning and administering intelligence units. 「イアン・フレミングは (海) 軍の将校で、諜報部隊の立案と管理をしていた。」○ **3** **4** During the War, while serving as an intelligence officer, he worked in collaboration with the American CIA, and was responsible for planning and administering elite intelligence units. 「戦争の間、諜報部員として働く一方、彼はアメリカのCIAと協力して働き、精鋭諜報部隊の立案と管理に責任を持っていた。」と、その直前の **3** before being recruited into the Navy 「海軍に採用される前に」から一致と判断する。

4. The character of James Bond in Ian Fleming’s novels appeared in a series of Bond movies. 「イアン・フレミングの小説における登場人物のジェームズ・ボンドは、一連のボンド映画に現れた。」○ **4** 最終文、The character from the Bond novels has appeared in 26 movies and been played by seven different actors. 「ボンド小説のその登場人物 (ジェームズ・ボンドのこと) は26本の映画に登場し、7人の異なる俳優によって演じられてきた。」に一致。

5. Ian Fleming undertook his career of writing James Bond novels. 「イアン・フレミングは、ジェームズ・ボンド小説の執筆という職業を始めた。」○ **4** **1** Fleming’s wartime experiences, as well as his career as a journalist, provided the content and depth of his writing for the Bond novels, a career which he took

on from the year 1952. 「フレミングの戦時体験とジャーナリストとしての経験が、ボンド小説の文章に内容と深みを与え、それは1952年から彼の仕事となった。」に一致。【語句】undertake [ˌʌndəˈteɪk | アンダテイク] **動** 「始める」

6. Ian Fleming directed the Bond movies, in which seven different actors played the role of Bond. 「イアン・フレミングはボンド映画の監督をしたが、その映画では7人の異なる俳優がボンドの役を演じた。」× イアン・フレミングが監督をしたとの記述はない。【語句】direct [dɪˈrekt | ディレクト] **動** 「監督する」、play a role [ˈrəʊl | ロウウ] 「役割を演じる」

7. Ian Fleming worked as a banker and a journalist, and experienced living abroad. 「イアン・フレミングは銀行員やジャーナリストとして働き、海外での生活を経験した。」○ **3** **3** Fleming later served as a banker and journalist and also spent time living abroad in Germany, Switzerland, and the USSR before being recruited into the Navy by Rear Admiral John Godfrey in 1939. 「フレミングはその後、銀行員やジャーナリストとして働き、1939年に海軍少将のジョン・ゴドフリーによって海軍に採用される前は、海外のドイツやスイス、そしてソ連で過ごした。」に一致。

以上から、正解選択肢は、3「軍に在籍」、4「ボンド小説からボンド映画に」、5「ボンド小説執筆」、7「銀行員やジャーナリストとして働く」で、時系列順に並べると7→3→5→4となる。なお、これは文章での出現順とまたま同じだが、文章の流れと時系列とは必ずしも一致しないので注意すること。

問4 文章中の内容を具体的に示す記述問題。論理的に問題文を読んで、過不足なく解答する。「具体的な特徴を3点挙げよ」とあるので、3つの箇条書きで解答するのがよいだろう。

「時代とともに映画の中のジェームズ・ボンド像がどのように変化したか」を、「近年のボンドの具体的な特徴」を挙げることで解答することになる。つまり、「近年のボンド」が「以前とは異なる」ことを含意する必要がある。本文の該当箇所は、**6 1** On the other hand, however, the Bond movies have also changed with the times, reflecting current issues such as developments in human rights. 「しかし一方で、人権の進展など現在の問題を反映して、ボンド映画もまた時とともに変化してきた。(問題文の内容)」**2** For example, some of the Bond character’s less fashionable attitudes, such as prejudice against different races, have been dropped, and in recent films he has also stopped smoking and can be emotionally damaged. 「例えば、異なる人種に対する偏見のような、ボンドに特異な態度は削除され、最近の映画では喫煙をやめたり、精神的に傷つけられたりすることもある。」の部分。**2** の such as 以降にある、3つの例を箇条書きにする。

問5 文章の正しいタイトルを選ぶ選択問題。文章全体の流れや、筆者の主張を端的に表しているかを念頭に選ぶ。文章の一部の内容に偏ったり、具体的すぎたりするものは、タイトルとしてふさわしくないと判断する。

(A) Shifting International Relations and the